

趣旨説明・南米アンデス地域には一五一一六世紀にインカ帝国が台頭し、スペイン軍に滅ぼされた。そのインカ帝国の祖型とされるのがワリ帝国である。ペルー中央高地南部のアヤクーチョ地方にあるワリ遺跡を首都として八一一〇世紀に台頭した。本シンポジウムでは、ワリ遺跡を発掘している二名の研究者をお招きして、最新の成果についてご講演いただく。そこから人類史における帝国の意義などを考えてみたい。

ワリ帝国を掘る

■ 趣旨説明

- Los animales sagrados en Wari: representaciones simbólicas desde la cosmovisión andina
ワリにおける聖なる動物:アンデスの世界観における象徴の表象

Martha Cabrera Romero

マルタ・カブレラ・ロメロ (ペルー国立ワマンガ大学)

- Nuevos aportes acerca del primer imperio andino: Wari
アンデスの初期帝国についての新発見:ワリ

José Ochatoma Paravicino

ホセ・オチャトマ・パラビシノ (ペルー国立ワマンガ大学)

- 日本語通訳・解説 渡部森哉 (南山大学人類学研究所)

■ 質疑応答

- 会場:ハイブリッド開催 南山大学Q103教室およびオンライン

- 言語:スペイン語

- 主催:南山大学人類学研究所

- 共催:文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(A)「古代アンデスのワリ帝国の社会構成と地方社会の実態」
文部科学省科学研究費補助金 新学術領域「出ユーラシア」A03班

日時 2023

6. 28 (Wed) 14:00-17:00

ご参加いただくには事前登録が必要です。ご参加される方は、下記よりお申込みください。(締切:6月28日17:00)



© José Ochatoma Paravicino

お問い合わせ先:南山大学人類学研究所

■Phone:052-832-3111 (代表) ■Email: ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp ■ツイッター:@jinruiken

■HP: http://rci.nanzan-u.ac.jp/jinruiken/ ■Facebook:「人類学研究所」で検索